



2014年10月1日 第77号
 発行人：前田 比呂志
 発行：特別養護老人ホーム白島荘
 〒562-0012 箕面市白島3-5-50
 TEL：072-724-5511
 FAX：072-720-2054
 ホームページ：http://www.osj.or.jp
 メール：hakusima@osj.or.jp



皆様のご協力により、8月23・24日と引っ越しを滞りなく終わることが出来ましたこと心より感謝申し上げます。
 今年の夏は、大雨による災害が多発しました。箕面市においても、8月24日の豪雨により近隣地区に一部避難指示が出ました。浸水や土砂の流入など被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。当日は、私自身も川のようになった道路を同僚と二人必死になり移動しました。今、私たちはケアマネージャーを中心に在宅サービスにおける災害時のマニュアルについて再度見直しをしています。度重なる大規模な自然災害に私たちは何が出来るのか。毎週の会議の中で繰り返し、繰り返し議論を重ねています。9月29日には、リュックを背に実際にスタッフで市内を歩きました。実際に歩くとまた色々な課題ができました。一つ一つの課題を克服しながら災害時に備えたいと考えています。



在宅サービス科長
楠 成美

今年の夏は、私自身にとっても心に残るできごとがありました。今まで、利用者の方々との出会いと別れを繰り返しながらわかったつもりになっていた別れでした。家族との別れは考えていた以上に深いものでした。いつもはサービスを提供する側の私が、サービスを提供される介護者家族になった経験は今まで気づかなかったことや、人の優しさのありがたさを心から感じる事が出来ました。今更ながら生きるということの大切さと人と人との繋がりの大切さが身に染みるとともに、私が家族として支えてもらったスタッフの方々がそうであったように、利用者・家族の気持ちに添える在宅スタッフになりたいと心から思いました。介護でお困りのことがありましたら、ぜひお声をかけて下さい。まずはゆっくりお話しをお聞かせ下さい、私たちは白島荘でお待ちしています。





島田 美津子様

うどんで有名な香川県出身です。趣味はガーデニングで華を愛するのが大好きです。以前は歌う事は無かったのですが最近をよく歌っています。



河本 延子様

大阪市出身です。好きな事はおしゃべりとダンスです。食べ物に好き嫌いはありません。皆さんどうぞ宜しくお願いします。

結婚前までは、電話交換手として頑張っておられました。とてもお話し好きで他の入所者の方といつも楽しくお話をされています。



板垣 健太郎様

出身は東京で、昔はテニスのコーチをされていました。とても背が高くご飯をいつも「美味しい」と言いながら食べておられます。



大谷 よね様

大谷といいます。裁縫が趣味で、結婚するまで知り合いの店で手伝うほど裁縫が得意です。よろしくお願いします。



安東 瑞子様

初めまして岡田です。好きな音楽は歌謡曲です。白島荘の方は皆さん本当に良い方ばかりです。これから宜しくお願いします。



岡田 睦子様

赤水 隆子と申します。お茶と和菓子には目がありません。みなさん宜しくお願いします。



赤水 隆子様

恋愛もののテレビを観ることが好き。好きな食べ物は、煮物と野菜を煮たものです。今、一番したいことは、寝ることです。



松田 ミチ枝様

以前はご主人の農業を手伝っておられました。施設においては折り紙作成が大好きでお部屋にたくさんの作品を飾っておられます。みなさん、よろしくお願いします。



岡本 千代子様

水本 けいです。あまり自己紹介というのは苦手ですが、みなさん宜しくお願いします。



水本 けい様



北条 恭子様

若い頃は西宮の卸売市場へ三つ葉などの野菜を売りに行っていました。どうぞ、よろしくお願いします。



河本 フジ子様



毛原 園栄様

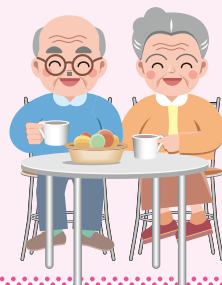
昔実家がレストランを営んでいて手伝っていました。編み物が得意で冬に向けてマフラーを編んでいるところです。

初めまして北条です。まだ来たばかりですが、皆さんと楽しく過ごしてまいりたいと思います。よろしくお願いします。

介護科おもやま話

9月に入り、むし暑い日々から一転して過ごしやすい季節になりました。白島荘では、約1年の永寿園での仮住まいからようやく、新施設のユニットケア施設に転居することになりました。8月24日、小雨の中、利用者の方々には車で移動して頂いたり、合羽を着てもらったりして移動して頂きました。幸いにして本格的な雨になる前に、無事、引越しが終わることができました。

利用者の方々には新しい生活に不安とまた、真新しい住居に対する期待が混じられ、しばらくは落ち着かれない生活を送られるのではないことと心配されましたが、さすが年の功、すぐに順応され、キッチンで洗い物を自らすすんで頂いたり、テレビ前の新品のソファでくつろがれたり、ご自分の居室での生活になじまれました。新施設に慣れるまで、家族や利用者にご迷惑をおかけすることと思いますが、職員一同、精進して努めますので、よろしくお願いいたします。



医務室だより

就任のご挨拶



岸本 英文

白島荘の新築移転に伴い診療所が新たに併設され、管理医師として着任いたしました。私はこれまで、大阪大学、大阪府立病院(現 大阪府立急性期医療センター)、国立循環器病センター、そして大阪府立母子保健総合医療センターにて小児の心臓手術に専念してきました。後継者も育ち4年前にメスを置き病院長に就任しましたが、今回白島荘診療所に勤務することになりました。

勤務に当たりまず読んだ本は、特養芦花ホームの医師、石飛幸三先生の『「平穏死」のすすめ』でした。「いかに医療を加減するか」「過剰な医療、過剰な栄養をやめ、自然な最期、看取りへと導く」ことを説かれており、大変感銘いたしました。私も張り切って頑張っやっていこう、日本中どこにもない新しいホームのあり方を目指そうという気持ちで9月1日を迎えました。

しかし、入所されておられる方々を回診してその介護度の高さ、かかえておられる病気の重さにまず驚きました。長期間投与されている薬剤を減らしていくことや、入所されている方々への声掛け、健康管理からはじめていこうと思っておりますが、「自然な最期、看取りへと導く」ことは私一人のできるのだろうかと考え始め、夜中に目が覚めるといろいろ心配になって睡眠不足が続きました。はたして私がこれからずっとやっていけるのだろうかと思いながら2週間が経ちました。

9月13日からの3日間の連休中に、以前から計画していました信州の南アルプスに登りました。標高3000mはさすがに空気が薄く、ちょっと動いただけで息があがります。頭もできるだけ動かさないようにして、ゆっくり山頂を目指しました。山小屋にあった経皮酸素モニターをつけてみますと、SpO2は88%!心臓病でチアノーゼのある子どもたちは、こんな状態で頑張っているんだなあと思うのが精いっぱい、ほとんど頭空っぽの状態でした。山頂から降りてきて酸素濃度が次第に上がってきますといろんな邪念が浮かんできて、後ろから降りてくる人がリュックサックにつけている鈴(本来は熊よけですが、ひょっとして人よけかも)がとてもうるさく感じられるようになり、下界の騒々しい世界に降りてきたかちょっと残念な気持ちになりましたが、3000mの世界を経験し心は少し落ち着いたような気がしています。

医師一人では限界もあり、「自然な看取り」をすることはそう簡単なことではありませんが、この方向性はできるだけ見失わないようにして頑張っやっていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

栄養科だより

クックチル調理法の導入と栄養・介護科による フードサービス向上への取り組み

安全な食事を提供するためには、食材や調理後の食事の温度管理が極めて重要であります。そこで、移転後の白島荘では、「クックチル調理」を導入した食事提供を行っております。「クックチル調理」とは、加熱調理後すぐに急速冷却する調理法のことです。細菌の増殖が盛んになる常温の温度帯を短時間に過ぎ、3度以下という細菌の増殖の危険性がない温度帯で食材管理を行うことで、より安全な食事提供を行える施設となりました。加えて、調理場から各ユニットまでの配膳には温冷配膳車を導入することで利用者に食事を提供する直前までの温度管理が可能となり、フードサービスの向上に繋がっています。



家庭的な雰囲気の中で食事を召し上がって頂くことを目標として、各ユニットでは介護職員が炊飯、盛り付けを行うことにも取り組んでおり、食事の時間帯は炊きたてのご飯の匂いをユニットで感じることが出来ます。このように、フードサービスの向上という同じ目標を達成するために栄養科と介護科では連携をさらに強化しています。今後も試行錯誤しながら、安全な食事提供はもとより利用者に喜んで頂ける食事を提供できるように今後も努めて参ります。

グループホーム
「華の家」通信
 華の家近況

今年はいつになく雨の多い夏でしたが、利用者の方々には体調を崩されることなく、お元気に過ごされました。8月3日の白島荘恒例の盆踊りも、雨天の為、館内で実施となりました。グループホームの皆様は夕食後から職員が着付けをさせていただき、浴衣を着て参加されました。家族も3組参加され、熱気の中、楽しい時間を過ごしていただきました。



8月10日午前の家族への内覧説明会は朝から台風で暴風と大雨。14日の内覧説明会は晴れましたが、24日のお引越しの日も午後から大雨となりました。幸い、グループホームの皆様は豪雨の前に、無事新しい建物に入ることが出来ました。法人各施設より前日からたくさんの方々の応援をいただきまして感謝いたします。



引っ越し後も、幸い利用者の皆様は新しい建物にすぐに慣れて落ち着いた生活を送っていただいています。むしろお部屋が新しくなったことで喜ばれて、家族とお部屋を自分らしく飾られたり、と新しい部屋を満喫されています。そうした日頃の皆様の生活のご様子は華の家ブログにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

秋の行事は敬老祝賀会、地域の敬老会やその他催し参加を予定しています。日常生活に於いても、利用者の方々笑顔で穏やかに過ごせるように職員一同努めて参ります。白島荘の中の小さな「華の家」をこれからも応援よろしく願いいたします。



こんにちは 白島荘ケアマネジャーの池田です。暑さ寒さも彼岸までと言語がありますが、お彼岸を前に今年8月に入ってからは気象の不安定が続いており、日中の日差しは夏を感じさせるものの夜間は随分涼しくなって参りました。利用者の方々はいかがお過ごしでしょうか？この季節は夏の疲れがでたり、日中の暑さ・冷房で体調が悪くされたりと体調管理には油断の出来ない季節でもあります。白島荘のケアマネジャーは3人で力を合わせて、日々在宅の皆様にご本人の望む生活を実現して、安心な生活が送れるようサービスの向上にチーム一団となって取り組み努めているところです。日々のサービスの中で利用者皆様の变化などを訪問時には気を配っているところではありますが、「何か変だな」と思われるお気づきのことがあればなんでもお気軽にお声掛けください。



管理者・主任介護支援専門員
池田 佳津子

8月24日にオープンした白島荘はリニューアルを迎え、新白島荘全体で皆様の生活のお役にたてるようとりくんでおります。居宅のケアマネジャーも気持ちを新たに皆様の在宅介護サービスがより一層向上するように取り組んで参りますのでこれからもどうぞよろしくお願いいたします。



光明の郷ケアセンター新聞

高齢者デイサービスの紹介

箕面市立光明の郷ケアセンターでは2か月に1度、手芸のボランティアさんが来てくれています。

毎回いろいろなことを考えてきていただいております、利用者の方に親切に教えていただきながら、作品を仕上げられています。利用者の方も楽しみにされており、出来上がった作品を満足そうにご覧になられています。

また、別のボランティアの方は踊りを披露しに来ていただいております。踊りは見ていて素晴らしいですが、時に笑いも入れながら、利用者の方を楽しませてくれています。もちろん職員も楽しませていただいております。

光明の郷ケアセンターではいろいろなボランティアの方にも支えていただきながら、日々を過ごしています。

10月には光明の郷ケアセンター祭りがあるので、制作に携わっておられる利用者の方は急ピッチで作品を仕上げられています。皆様にはぜひ、力作の数々を見ていただきたいので、当日は光明の郷ケアセンターへお越しいただければと思います。

毎月第2・4の午後1～3時に喫茶店も開店しています。是非にお越しください。

みんなの笑顔をお待ちしています。



小規模多機能「ひねもす」

夏の風物詩、スイカ割やカキ氷など、昔話に花を咲かせながら楽しみました♪

家族宛に暑中見舞いを書いたり、地域の行事に参加させて頂き、懐かしい方との再会に 笑顔がこぼれたり…。外に出ることが好きな「ひねもす」の利用者。今後も外食・外出企画、盛りだくさんで楽しんでいきます!!一緒に色々な企画など楽しんで下さる方、ご興味のある方、ぜひ、声をかけて下さい。



ひとりひとりに寄り添い、望む暮らしのお手伝いができると思っております。また、地域の皆様と共に歩み、愛され、必要とされる「ひねもす」でありたいと願っております。

随時、見学・相談・体験を行っております。お気軽にお問合せ下さい。心よりお待ちしております。

随時、見学・相談・体験を行っております。お気軽にお問合せ下さい。心よりお待ちしております。

地域活動支援センターの紹介

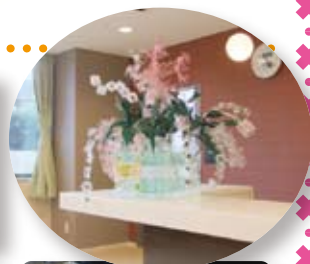
3階の障がい者の広場の活動を紹介します。

白島荘竣工式に合わせて「盛り花」とパーティー用の「コースター」作りをしました。

花・コースター共に大変な反響をいただきました。その後、コースターは何処へ行ったやら？(._.)?

今度は「ケアセンターまつり」(10/26日曜日)に向けてゲームつくりや「妖怪ウォッチ」の壁画作りに挑戦。みんなの笑顔があふれる障がい者デイに一度お越しください。

毎月第2・4の午後1～3時に喫茶店も開店しています。是非にお越しください。みんなの笑顔をお待ちしています。



引っ越しを終えて

～ これからの白島荘 ～

8月23日・24日の二日間で、白島荘は旧永寿園の仮住まいから新施設に引っ越ししました。23日は荷物の、24日はベッドやテーブル等、当日まで使わなくてはいけない物と、入居者の引っ越しでした。両日共、事業団内他施設から多くのボランティアの方にお手伝い頂き、皆様大汗をかきながらも大きな事故などなく、無事に終わりました。特に、24日は局地的豪雨に見舞われる前に入居者の引っ越しが終えられて、本当に良かったです。白島荘職員も引っ越しの随分前から準備をしてくれました。家族も事前に荷物整理等に来て頂きました。皆様に心より感謝申し上げます。



本間 良子



そして、引っ越しの夜から新白島は始まりました。新しい取り組み「食事の盛り付け」。さっそくつまずきました。介護職員の「これなに」「これないよね」等々の声に走り回る栄養士。お互いに混乱して、入居者をお待たせする。「遅いなあ」「前のようにしたらいいのに」・・・グサリ。あれから1週間ほど経過すると少しずつ慣れてきました。ちゃんとメニューを確認して、どれがメインの添えか分かりますよ！

このように、まだまだこれからの白島荘です。荷解きもそこそこです。これからも皆様の協力が必要です。時間がかかるかもしれませんが、「ここが自分の家だ」と思ってもらえる白島荘をつくるのが私たちの目標です。今後ともよろしくお願い致します！

敬老祝賀会

白島荘 三大行事のひとつの敬老祝賀会が先日9月14日(日)に行われました。午前中の式典では喜寿・米寿・白寿・100歳を迎えられた方をはじめ多くの方々にご列席頂きました。

午後は恒例の西川きよし師匠、ヘレン様ご夫妻の司会による素人名人会が行われました。今年は忠志様も来て頂き、息のあった親子掛け合い漫才(?)ありの進行でとても盛り上がり、利用者、職員の日頃の練習の成果を発揮し、自慢の歌声、踊り(?)が披露されました。

今年も名人賞も続出し拍手と笑いに包まれて、無事に敬老祝賀会は終了しました。来年も家族をはじめ多くの方に楽しんで参加して頂ける敬老祝賀会にしたいと思います。



ボランティア募集

白島荘では、利用者の方々に日々の日常生活を豊かに楽しく、刺激ある生活を送って頂けるよう行事やクラブを行っています。

現在の活動として、カラオケや習字、アートフラワー等を行っていますが、活動の幅を広げていきたい、地域の方々に開かれた施設でありたいと感じており、ボランティア募集という形で皆様のお力を貸して頂けたらと思っています。

活動内容は特に問いませんので、ご尽力頂ける方はぜひ、白島荘にご連絡して頂けたらと思いますので、宜しくお願い致します。

見学・受付について

○入所、ご利用についてのご相談なども含め、お気軽にお越しください。なお、見学をご希望される方は事前にお電話にてご予約いただいた上、お越しくださいますようお願い致します。特別養護老人ホーム以外にもデイサービスセンターやケアマネジャー、ホームヘルパーなどのご相談、ご利用についてなども、まずはお電話下さい。

◎ お問い合わせ ◎

☎ 072-724-5511

担当：大久保・大野

編集後記

皆様のご協力もあり、無事に8/24に新施設へ大きな事故などなく、引っ越すことができました。

新施設となり、ユニットケアを行う施設として職員一同を引き締め直しより良いケアができるよう支援してまいります。

今後はユニット毎の取組みや新しい行事についてなどご紹介できればと思っております。

今後とも白島荘グループをよろしくお願い致します。

